

# 第 58 回インテリア設計士資格検定試験

## <1 級学科試験論文課題・事前発表>

次に示す 3 つのテーマから 1 題が選ばれ、試験当日に発表されます。

論文の文字数は、いずれの場合でも 800 字以上 1,000 字以内で、要点をまとめて書いていただきます。

試験当日には所定の原稿用紙が配布されますので、午前 10 時から 11 時 30 分までの 90 分間に書き終わられるよう、準備してください。

試験採点委員が読みやすいよう、文字は崩さず丁寧に濃く書いてください。なお、参考資料、下書き、コピー等の持ち込みは禁止します。

少子高齢化時代を迎え、マンションのリノベーションを実施するにあたって、留意すべきポイントを以下の項目について整理して述べなさい。

- 1) 計画面
- 2) 設備面
- 3) 施工面

町家や古民家のリノベーションやコンバージョンにあたり、これらに特徴的な以下の項目について整理して述べなさい。

- 1) 構造
- 2) 家具および収納
- 3) 建具

自然災害や日常災害に対する安全対策として、インテリア計画において求められる要点を項目ごとに整理して具体的に述べなさい。

- 1) 計画のポイント
- 2) 床・壁・天井の仕上げ材
- 3) 造作家具および既製家具

一般社団法人 日本インテリア設計士協会

大阪市中央区博労町 1-6-14

Tel. 06-6262-1488 Fax. 06-6262-1553

E-mail: sjit@jp-interior.or.jp

## 第58回インテリア設計士資格検定試験

### <1 級 論 文 用 紙>

<課題> 少子高齢化時代を迎え、マンションのリノベーションを実施するにあたって、留意すべきポイントを以下の項目について整理して述べなさい。

- 1) 計画面    2) 設備面    3) 施工面  
(文字数は800字以上1,000字以内とする)

1/3

少子高齢化、人口減少の時代を迎え、マンションのリノベーションには近年ますます需要が高まっている。コンパクトシティ構想や介護負担の軽減など社会的・地域的課題解決の期待も集合住宅やそのリノベーションに込められる昨今である。これら時代の要請を踏まえ、計画面・設備面・施工面から特筆すべき項目を検討する。

100

計画面の前提として、生活者像は元気な高齢者またその予備軍とし、都市生活の恩恵を享受するため、マンション暮らしを選択する例を特徴的傾向ととらえる。これらのケースを検討したい。夫婦が快適な生活を続けるための平面計画は、LDK+寝室+予備室が基

200

本となろう。生活を楽しむためには人との交  
流が必要だ。来客と共に楽しめる魅力的なL  
DK、そして予備室は子息の宿泊室や書斎・  
趣味室として利用できる。内装は自然素材を  
採用したい。長寿かつ経年変化も楽しめる素  
材である。床は下階への音の伝播を軽減する  
ため、床組みの選択には防音性を考慮して計  
画する。

300

400

次に設備面を検討する。既存マンションで  
は、設備の竖管の位置が決まっているので、  
水廻りはコンパクトな位置決めが重要だ。あ  
まり位置をずらすと排水勾配不足に加え、排  
水音の問題が発生することがある。下階に寝  
室が想定される部分には水回りを設けないよ  
う注意が必要だ。また中古マンションは気密  
性に欠けることも多いが、逆に換気性能が高  
く換気はそれほど意識しなくていいケースが  
多い。窓ガラスは単層なので空調設備の能力

500

600

は十分に検討したい。

施工面では解体工事に特に注意する。以前

の仕上材・断熱材には石綿等有害物質を含む

700

ものもある。ただでさえ粉塵が多く発生する

ので窓を密閉する等近隣への配慮が必要であ

る。その他解体・改修工事には騒音問題に加

え、エレベータの使用など資材の搬出・搬入

経路の問題がつきものだ。工程管理と近隣・

800

管理組合への伝達・規約遵守が重要である。

1981年以前に施工されたマンションは現

在の耐震基準を満たしていない可能性がある

。本来躯体は共有部分であるため新しく孔を開

けたりすることのないよう十分注意したい。

900

最後に全般的・基本的要件として、マンシ

ョンのリノベーションではまず周辺の町の状

況や居住者の年齢層等を含めた当該マンシ

ョンの状況など、今あるまわりの環境を十分観

察してから計画することは言うまでもない。

1000